

2025（令和7）年度 日本山岳会栃木支部 夏山山行報告書

- 1 期 日：2025年8月23日(土)～25日(月)
- 2 場 所：岩櫃山、白砂山（共に群馬県）
- 3 参加者：渡邊雄二、高野正道、菱田克彦、猿山浩、後藤尚、鬼頭秀夫、大島健一
ゲスト：新本政子(関西支部)、鈴木清一(元会員)、猿山真奈美、後藤幸子、内山昭夫
- 4 行動記録：

8月23日(土) 岩櫃山

岩櫃山登山口の一つである平沢登山口駐車場に午前9時に全員集合し、打ち合わせを行う。ここは土曜日なのでもっと混んでいるかと思ったが空いていた。平沢口からは5名、古谷口からは7名と2つの登山コースに分かれた。古谷口へは2台の車に相乗りして向かった。

○平沢登山口(菱田、大島、新本、鈴木、内山)

平沢登山口(9:20)～岩櫃城本丸址(9:40～9:50)～天狗の蹴上げ岩(10:40)～9合目(11:05)～岩櫃山(11:15)～平沢登山口(12:40)

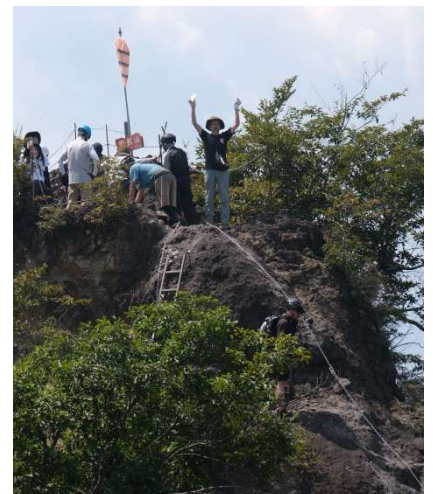
平沢登山口を出発し、蒸し暑いなか尾根通りコースを登り始める。足元はよく整備されて歩き易く15分位で見晴らしの良い広い岩櫃城本丸址に着く。2016年のNHK大河ドラマ「真田丸」ではオープニングタイトルに岩櫃山が用いられた。4合目を過ぎ痩せた尾根を登ると天狗岩があった。岩の一部に天狗の鼻のような三角錐状の石を見立ててそのように呼んでいるようだ。明るい木々の中を登ると6合目の赤岩通り分岐があり、下っていくと天狗の蹴上げ岩の沢通りに合流する。急な岩場を梯子や鎖を利用しながら登ると、9合目のやや開けた所を過ぎピークに出た。目の前にはジャングルのような岩櫃山の頂上に多くの人がいるのを見ることができた。我々はこの時には暑さのせいで皆相当疲れていて山頂はあきらめることになり、菱田会員だけが頂上を目指した。

ここで古谷登山口から頂上を踏んで降りてきた7名の人たちと合流し9合目で休憩した。大島会員は、内山さんが途中休憩しその後山を下りたので追いつき一緒に平沢登山口に下山した。

○古谷登山口(渡邊、高野、猿山夫妻、後藤夫妻、鬼頭)

古谷登山口(9:40)～岩櫃山(10:55～11:35)～岩櫃城本丸址(12:05)～平沢登山口(12:20)

急登で岩場や鎖場が続くルートということで気を引き締めて登山口を出発。最初はアスファルトの上り坂を進むが、猛暑とアスファルトの照り返しで大汗をかかされてしまった。樹林帯に入りホッと一息だが急登は喘ぎ喘ぎゆっくりと登った。尾根に出ると今度は岩場を固定ロープを使



って慎重に登る。先行者がいるため、しばし順番待ち。先行者の危なげな登り方を見ているだけで冷や冷や、暑さもいつか忘れてしまう。山頂は大勢がゆっくり休むことはできないので、固定ロープを利用して急な岩場を下った。ハイキングルートとしてはこの山頂部分はかなりの慎重な行動が求められた。平沢登山口からのメンバーと合流し、木陰を選んで昼食にした。ホッと一息、その後はのんびりと岩櫃城本丸址を見学して平沢登山口に下山した。



○平沢登山口(13:00)～道の駅あがつま峡(13:30-14:)-スーパー大津(14:40-15:10)～野反湖キャンプ場(16:20)

1 時頃には平沢駐車場に全員下山し、入浴するために古谷登山口にある車を回収しながら、道の駅あがつま峡まで移動した。温泉で疲れを癒した後スーパーに今夜の食料を購入するため立ち寄り、宿泊施設のある野反湖キャンプ場へ向かう。

バーベキューの準備ができ、6 時頃から役員会のレジュメを配付し、懇親会が和やかな雰囲気ではじまった。皆様からの差し入れもあり一層話が盛り上がり消灯時間まで充実した時間を過ごすことができた。



8 月 2 4 日(日) 白砂山

午前5 時ごろから各自アルファ化米とおかずを選んで朝食を済ました。キャンプ場から駐車場のある登山口まで舗装道を歩き、そこで野反湖登山案内センターの人に白砂山までのルート概要の説明を受けたので、安心して登ることができた。歩き始めはササの斜面を登り、下ったところにハンノキ沢にかかっている角材を番線で止めてある橋が、濡れていて危なそうなので慎重に渡った。樹林のなか急登は続き、地蔵峠を過ぎ地蔵山はピークを通らず、山の右を巻いたり左を巻いたりしながらシラビソ尾根を登る。水場分岐を通り展望がない堂岩山に着いたのは9 時2 0 分頃であった。



しかし堂岩分岐を過ぎると素晴らしい稜線歩きが待っていた。山腹のガスが幽玄さを醸し出し何とも言えない雰囲気が漂っていた。時折それが動きだし心地よい風と視界を広げてくれた。登山道には可憐なホソバコゴメグサ、ホツツジ、マルバダケブキ、ハクサンフウロ等が見られた。白砂山には1 1

時前後に到着し昼食にした。相変わらずガスの動きはゆったりとしていた。殆ど雨に降られずに3時前後に登山口に到着した。後藤夫妻は本日をもって帰宅した。また渡邊支部長と新本さんは午後4時前には白砂山から下りてきた。また鈴木さんと内山さんは堂岩山から早くに戻っていたので大変お待たせしてしまった。今回のルートは長丁場だったが、無理をしないで其々のペースで登ることができた。夕食は渡邊支部長から提供していただいたお米を、猿山会員が鍋で苦労して炊きあげ、おいしいカレーライスを食べながら談笑し涼しい夜を過ごした。



8月25日(月)

朝食後午前7時半頃解散をした。

以上